

13 (土)

悪霊につかれた人の癒し

マルコによる福音書五章一〜20節

そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことを、ことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。(20)

7 /

悪霊に取りつかれた人が主イエスの前にやってきました。彼は他の人と人格的な関係を築くことが出来ず、人里から離れて墓場を住処とし、誰も止められないほどに暴れ回り、自分で自分を傷つけていました。彼は主イエスに出会うと、「構わないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい」(7)と叫びます。これは、「私とあなたとは関係がないのだから、構わないでくれ」という願いです。ここに私たち現代人の姿を見るようではありませんか。墓場のような殺伐とした世界に生き、他人や自分を傷つけずには生きられず、それでいて「神なしでもやっていける」と言い張るのです。私たちも救い主キリストに救っていただかなければ正気を失っていた者たちです。悪しき霊につかれて苦しみの叫びをあげていた私たちを、主イエスはご自分の命をかけて解放してくださいました。